

tarot
Key of fortune
astroger



・タロットと十二星座の占い

・占い師のコラム

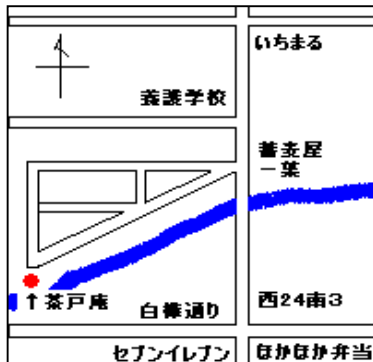
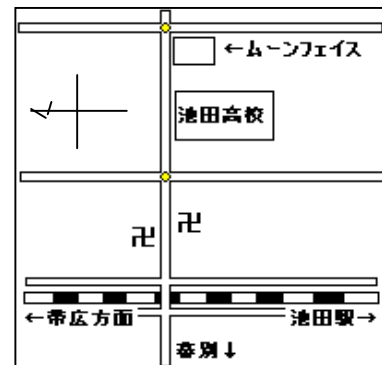
・各種情報

グリーン活動情報

出張鑑定所

画廊喫茶【ムーン フェイス】
住所 中川郡池田町字清見132
池田高校の坂を登って行くと、右側にあります。
TEL 01557-2-2198 (要事前予約)

スケジュールは要問い合わせ

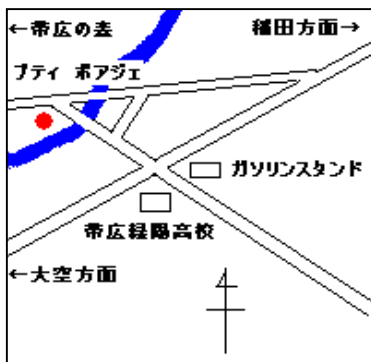
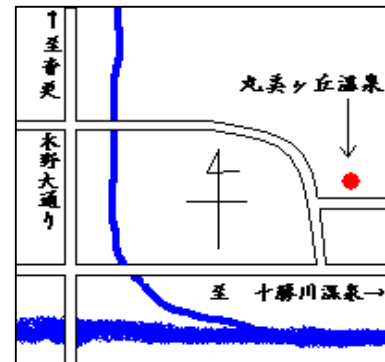


お茶の間レストラン【茶戸庵】
住所 帯広市西25条南2丁目7-83
TEL 0155-37-5092 (要事前予約)
(お茶・お菓子がサービスされます。)

丸美ヶ丘温泉ホテル
住所 音更町宝来本通6-2

TEL 0155-31-6161

毎週金曜日 昼1時～夕5時 まで
鑑定依頼者入浴サービス
占い師までお申し付け下さい。



Cafe' プティ ボアジェ
住所 帯広市南の森西7丁目1-15

TEL 0155-47-3023

第二・第四水曜日 1時～3時 まで

鑑定料 TEL 080-3238-6423

個人出張鑑定・各種イベント・講座等も承ります。

鑑定料 20分 2000円 10分延長毎500円

占い師のコラム No. 10

カードの解説 ～Ⅱ番 女教皇～

タロットの総数は78枚。その中で、最も重視されるのが、【大アルカナ】と呼ばれる、22枚のカードです。

タロット78枚の中で【大アルカナ】は【運命の勢力】を暗示し、その人が、或いは集団が、どのような影響を受けているかを判断するのに使用されます。

さて、その【大アルカナ】の【Ⅱ番】。

和名【女教皇】と呼ばれるこのカードは、【陰陽】等で代表される【二極性】の中に見られる原理。そして、その二極性を越えた、第三の原理等を暗示します。

人が、日常の中で出会う【矛盾】と言う障害。

その【矛盾】の中に隠れた、本当の【核】を、女教皇は暗示する。

但し、その【核】は、薄いヴェールに覆われたかのように、ハッキリした形を持って現れてはくれません。

【女教皇】は、決して答えを明かしてはくれないのです。

暗示めいた形で、さり気無く囁く。

【運命の勢力】としては、具体的に、どのような影響力を持つでしょうか。

【女教皇】は知性に溢れますが、極めて受動的、消極的です。

その為、動的な出来事に対しては、それ程大きな影響を持つ事はありません。

また、取り組んでいる問題について、何かしらの【秘密】や【謎】。【見落とし】が存在する事を暗示します。

それらの要素こそが、今の時期に、最も重要な影響を与える【鍵】なのです。

この【鍵】に気付く事無く進んでしまう場合。

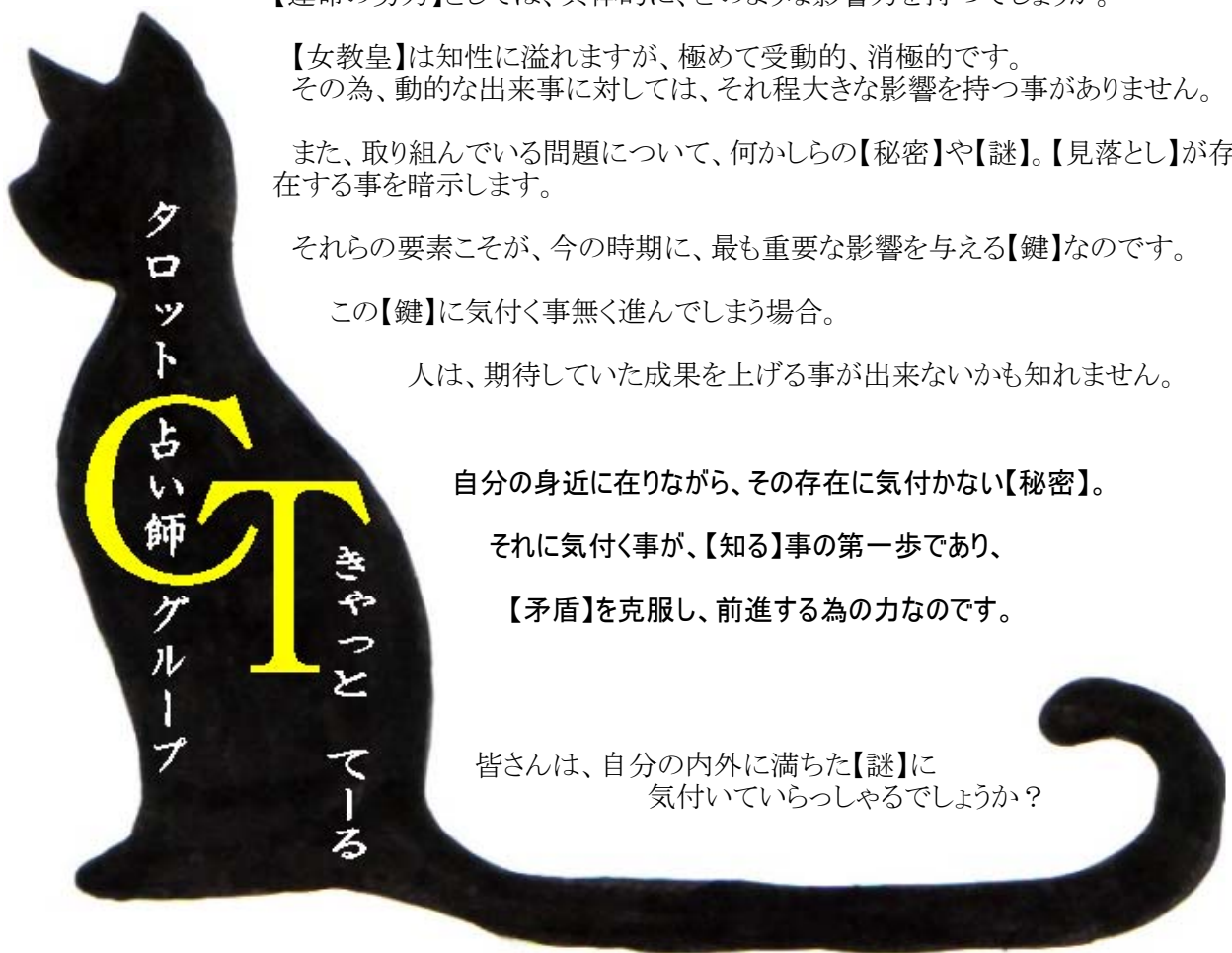
人は、期待していた成果を上げる事が出来ないかも知れません。

自分の身近に在りながら、その存在に気付かない【秘密】。

それに気付く事が、【知る】事の第一歩であり、

【矛盾】を克服し、前進する為の力なのです。

皆さんは、自分の内外に満ちた【謎】に
気付いていらっしゃるでしょうか？



占い師のコラム

No. 11

カードの解説 ～Ⅲ番 女帝～

タロットの総数は78枚。その中で、最も重視されるのが、【大アルカナ】と呼ばれる、22枚のカードです。

タロット78枚の中で【大アルカナ】は【運命の勢力】を暗示し、その人が、或いは集団が、どのような影響を受けているかを判断するのに使用されます。

さて、その【大アルカナ】の【Ⅲ番】。

和名【女帝】と呼ばれるこのカードは、象徴的な母性の暗示。

母なる大地や、偉大なる自然の【強さ】と【恐ろしさ】、そして【懷の深さ】を暗示しています。

【女帝】によって象徴される力は、多くの場合【潜在的】です。

しかし、その中には強い生命力が秘められ、地上に生きる多くの生命達を、産み、育むと言う、重要な役割を持っているのです。

正に【生命の母】。優しき【女神】。

しかし、そんな【女帝】にも、恐ろしい側面があります。

【誕生】の対極に位置する【死】。

【生育】の対極に位置する【老い】。

あらゆる生命の【老い】と、その結末である【死】は、【女帝】の担う役割の一つ。

【生命の可能性】を与える【母なる女神】は、同時に【死の宿命】を与える【恐ろしき魔女】でもあるのです。

【女帝】とは、そんな役割を持つカード。

【運命の勢力】としては、具体的に、どのような影響力を持つでしょうか。

第一に、いずれ芽吹く時の来る【潜在的な可能性】の暗示。

第二に、環境の保護力と、ゆっくりとした繁栄の暗示。

第三に、栄枯盛衰の定め

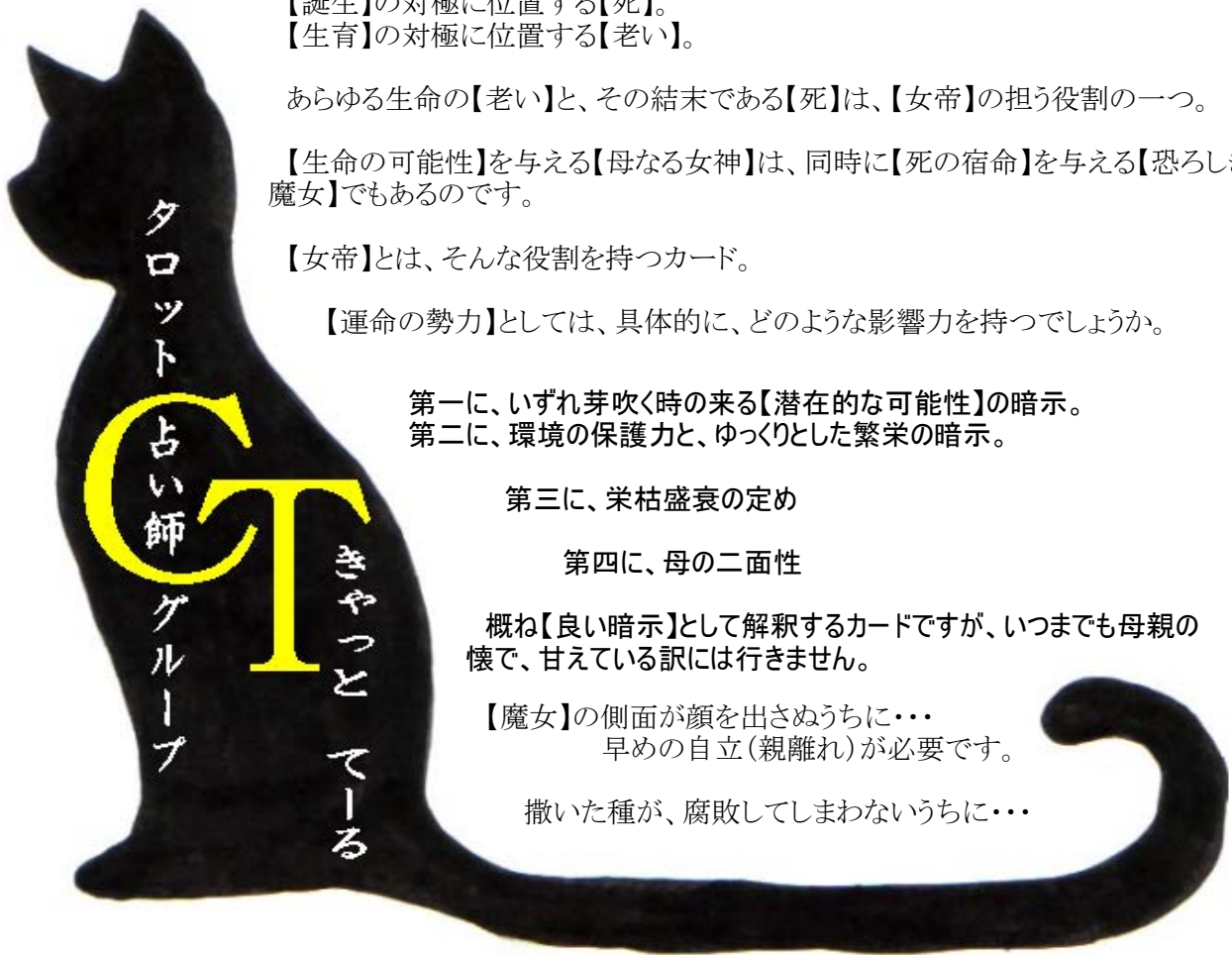
第四に、母の二面性

概ね【良い暗示】として解釈するカードですが、いつまでも母親の懷で、甘えている訳には行きません。

【魔女】の側面が顔を出さぬうちに...

早めの自立(親離れ)が必要です。

撒いた種が、腐敗してしまわないうちに...



カードの解説 ～IV番 皇帝～

タロットの総数は78枚。その中で、最も重視されるのが、【大アルカナ】と呼ばれる、22枚のカードです。

タロット78枚の中で【大アルカナ】は【運命の勢力】を暗示し、その人が、或いは集団が、どのような影響を受けているかを判断するのに使用されます。

さて、その【大アルカナ】の【IV番】。

和名【皇帝】と呼ばれるこのカードは、象徴的な父性の暗示。

【母性】と【自然】を暗示した【女帝】のカードに応ずる形で、【父性】の他に、【人工】と言う意味も持ち合わせます。

【自然】と言う包み込むキャンバスの中に、【人間の意志】が加わり、土地が開拓されて、人間の文明が出来上がって行く。

【皇帝】の暗示する【父性：人工】とは、【自然の中における、人間の創造性】の事なのです。

全ての人間は、女性の腹から生まれて来る。

そして、全ての文明は、自然の中に生まれて来る。



時に人間は、自然の領域と、人間の領域を区別して考えます。

しかし、それはナンセンス。

我々人間は、有史来、一度として自然から離れた事は有りません。

【母性】と【父性】が交じり合い、初めて新しいモノが生まれる。

我々人間には、その原則を突き崩す事は出来ないのです。

さて、【皇帝】のカード。

【運命の勢力】としては、具体的に、どんな影響力を持つでしょうか。

第一に、【顕在的】な創造性の発現

第二に、【創造的意志】の支配性

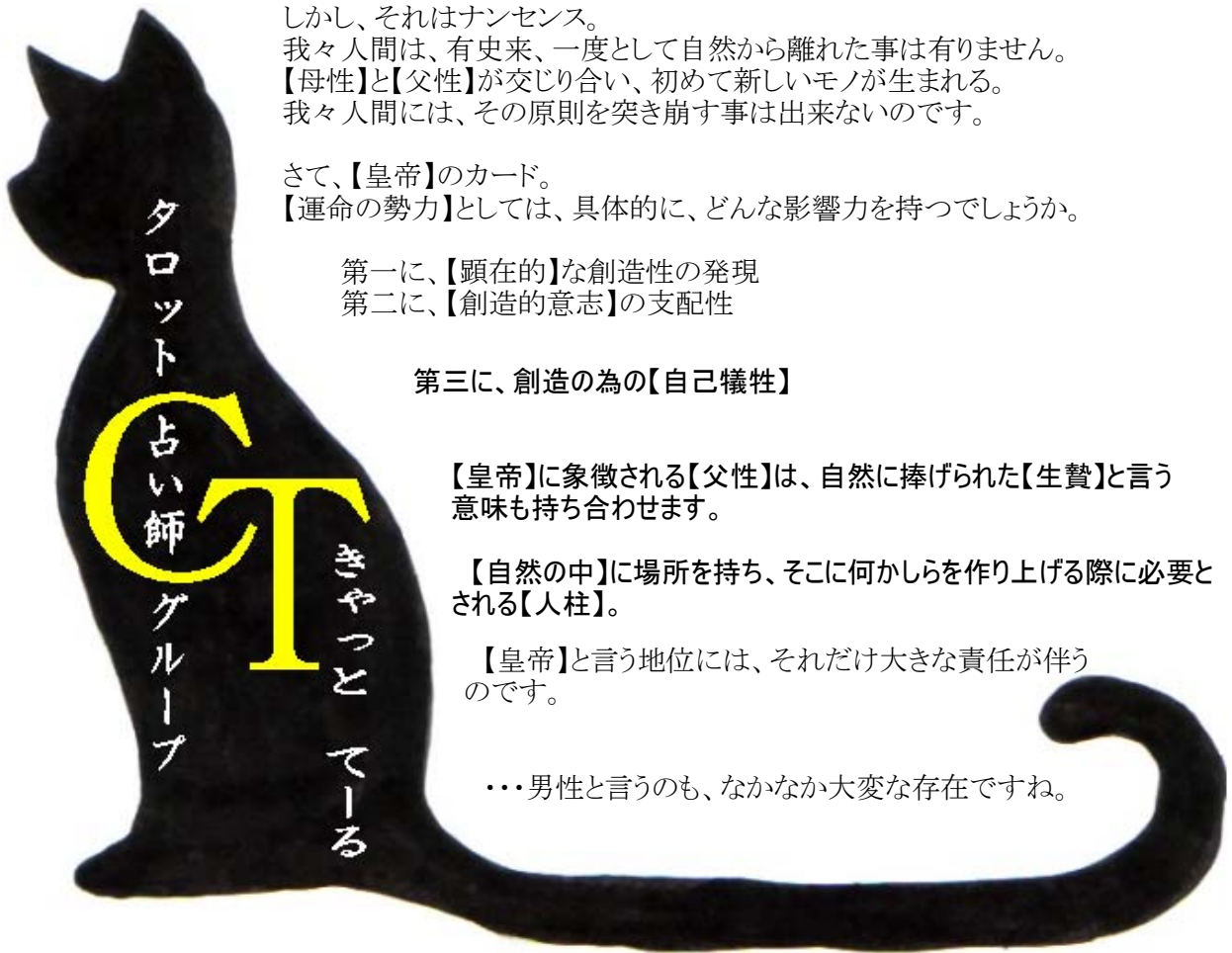
第三に、創造の為の【自己犠牲】

【皇帝】に象徴される【父性】は、自然に捧げられた【生贄】と言う意味も持ち合わせます。

【自然の中】に場所を持ち、そこに何かしらを作り上げる際に必要とされる【人柱】。

【皇帝】と言う地位には、それだけ大きな責任が伴うのです。

…男性と言うのも、なかなか大変な存在ですね。



カードの解説 ～V番 法王～

タロットの総数は78枚。その中で、最も重視されるのが、【大アルカナ】と呼ばれる、22枚のカードです。

タロット78枚の中で【大アルカナ】は【運命の勢力】を暗示し、その人が、或いは集団が、どのような影響を受けているかを判断するのに使用されます。

さて、その【大アルカナ】の【V番】。

和名【法王】と呼ばれるこのカードは、真理探究の【ヒント】や【鍵】の暗示。

本来【法王】は、宗教の最高権威者であり、神の代弁者として、信徒達を教え、導く役割を持ちます。

【法王】が教えるのは【神の教義】。つまり、天の国へと近付く為の教え。

但し、この教えは決して【答え】では無く【ヒント】。
或いは、扉を開く為の【鍵】でしか無いのです。

つまり、最終的には、自ら答えを探さなければならないし、
進んで扉を開くのは、本人自身と言う事になります。

【法王】は、そう言った【探求者達】を誘うナビゲーター。或いは仲介者。
悩める人の相談者であり、知恵を持つ先人でもあります。

この点から言えば、必ずしも【宗教】には限らない。
若人の悩みを聞き、未来の開拓へと誘うのは、常に古き知恵です。

【温故知新】 古きを温め、新しきを知る。

そんなテーマが、このカードには秘められているのです。

では、【運命の勢力】としては、具体的に、どんな影響力を持つでしょうか。

【相談者の出現】

これは、未来を開拓する為のヒントを与える存在の登場を暗示します。

【祝福】

これは、若人の進む未来を祝い、希望を与える言葉の暗示。

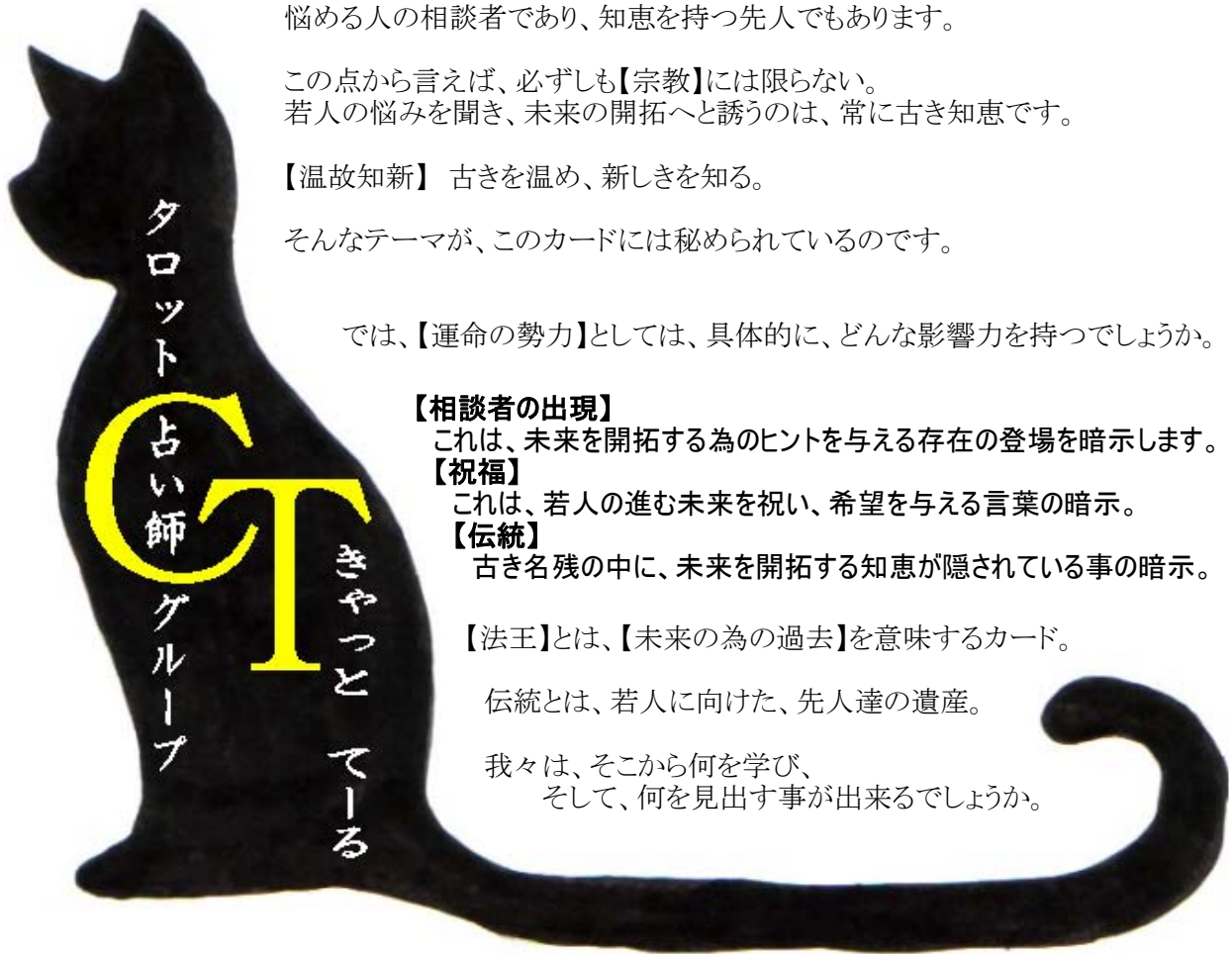
【伝統】

古き名残の中に、未来を開拓する知恵が隠されている事の暗示。

【法王】とは、【未来の為の過去】を意味するカード。

伝統とは、若人に向けた、先人達の遺産。

我々は、そこから何を学び、
そして、何を見出す事が出来るでしょうか。



カードの解説 ～VI番 恋人達～

タロットの総数は78枚。その中で、最も重要視されるのが、【大アルカナ】と呼ばれる、22枚のカードです。

タロット78枚の中で【大アルカナ】は【運命の勢力】を暗示し、その人が、或いは集団が、どのような影響を受けているかを判断するのに使用されます。

さて、その【大アルカナ】の【VI番】。

和名【恋人達】と呼ばれるこのカードは、【恋愛】において最も良いと噂されるカード。鑑定中にこのカードが出現すると、皆一様に目を輝かせます。

見た目の絵柄からしても、裸体の男女が向き合い、頭上の天使が祝福しているかのよう。

確かに、男女関係の行方を占う上では、このカードを越えるモノはありません。

とは言え・・・

勿論、この一枚のカード。その他にも色々と深い意味合いがあるのです。

カードに描かれた男女は、旧約聖書に登場するアダムとイブ。
そして、頭上に描かれた天使は、二人の世話役であったラファエルと言う大天使。

カードを良く見ると、左側の樹に蛇が巻き付いています。

これは、神の天敵。アダムとイブを唆し、禁断の果実を食べさせ、
楽園から追放させた、悪魔王【サタン】の化身なのです。

カードに描かれているのは、【失楽園】と言う伝説の場面の直前。

この直後、アダムとイブが、禁断の果実を【食べるか】【食べないか】と言う決断の
差によって、後の人類が、永遠に楽園へと留まるか、或いは、現在のような悩まし
い世界を生き続けるかが決まるのです。

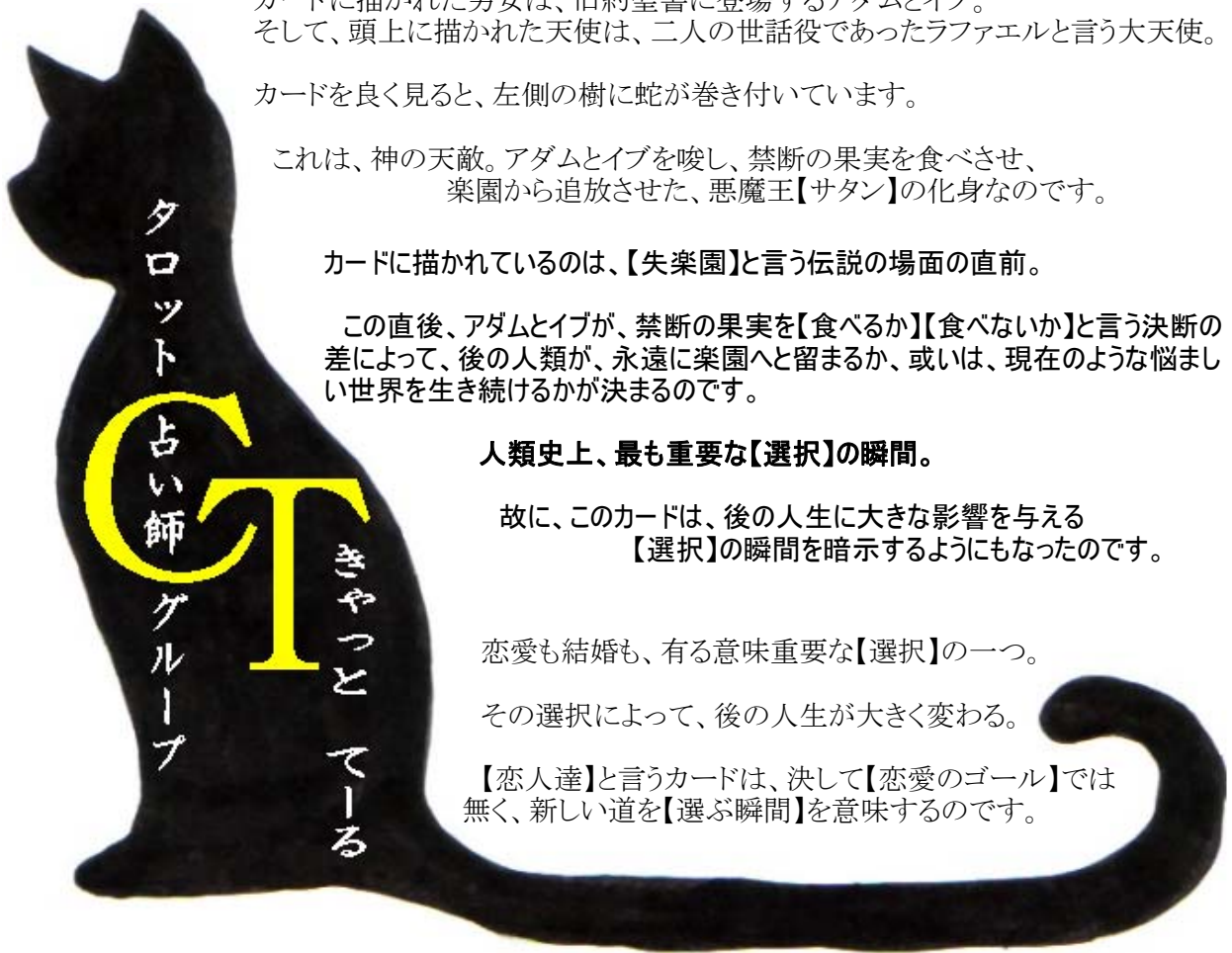
人類史上、最も重要な【選択】の瞬間。

故に、このカードは、後の人生に大きな影響を与える
【選択】の瞬間を暗示するようになったのです。

恋愛も結婚も、有る意味重要な【選択】の一つ。

その選択によって、後の人生が大きく変わる。

【恋人達】と言うカードは、決して【恋愛のゴール】では
無く、新しい道を【選ぶ瞬間】を意味するのです。



カードの解説 ～Ⅶ番 戦車～

タロットの総数は78枚。その中で、最も重要視されるのが、【大アルカナ】と呼ばれる、22枚のカードです。

タロット78枚の中で【大アルカナ】は【運命の勢力】を暗示し、その人が、或いは集団が、どのような影響を受けているかを判断するのに使用されます。

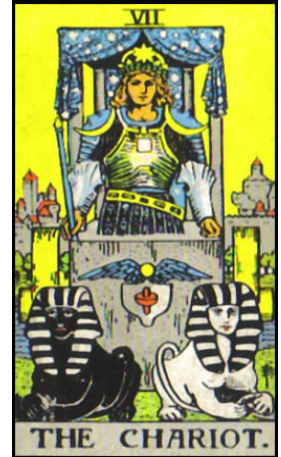
さて、その【大アルカナ】の【Ⅶ番】。

和名【戦車】と呼ばれるこのカードは、破竹の勢いを持つ強力な戦士。古代神話に登場する、雄々しき【英雄】を暗示するカードです。

鑑定の際には、問題解決に優れた力を発揮するカードとして、概ね【吉兆】と捉えられるのが通常。その影響力は迅速で、素早い解決が促されます。

さてしかし、そんな【英雄:戦士】にも弱点はある。

硬い鎧に身を守られる為、外側からの攻撃には強いのですが、その内側はか弱き生身。その内側では、激しい葛藤を抱えているのです。



古代神話の英雄譚を読むと、超常的な力を持つ青年達が、未熟な想いの中で葛藤する場面が多く見られます。

その様子は、現代風に言えば、正に【思春期】のそれに近い。

子供から大人に成長する過程で生じる、激しい葛藤が、外側における超常的な力へと変わり、強大な敵を打ち倒す。

人の迷いが時に力となり、偉業を成し遂げる事を暗示しているのです。

激しい葛藤の中に生きる青年期。

しかし【世界】は、そんな彼を祝福し、様々な才能を与えます。

神々の祝福を暗示する【星々の天蓋】。

才能を暗示する【星座のベルト】。

物質界の征服者としての資質を示す【方形の台座】。

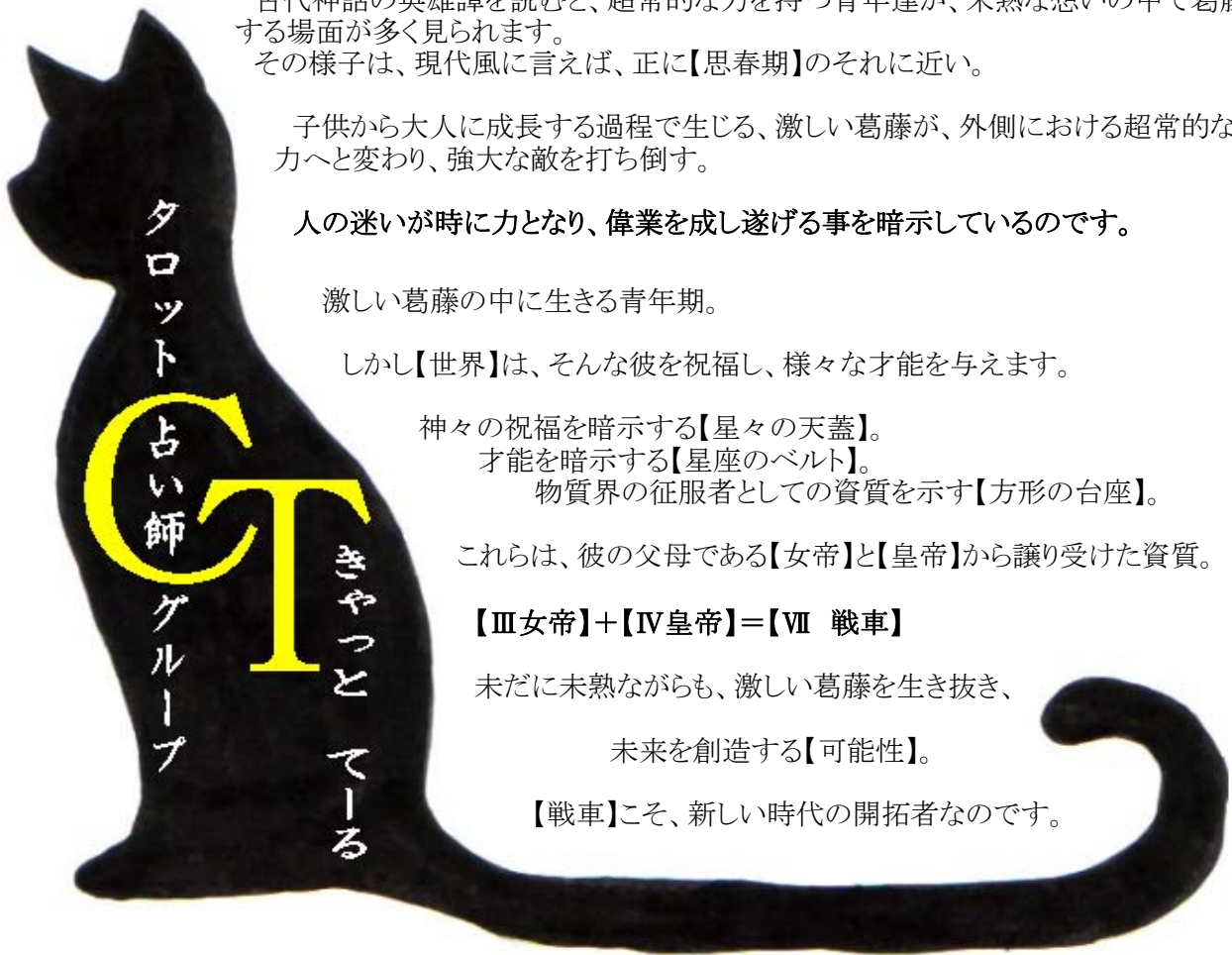
これらは、彼の父母である【女帝】と【皇帝】から譲り受けた資質。

【Ⅲ女帝】+【Ⅳ皇帝】=【Ⅶ 戦車】

未だに未熟ながらも、激しい葛藤を生き抜き、

未来を創造する【可能性】。

【戦車】こそ、新しい時代の開拓者なのです。



カードの解説 ～Ⅷ番 剛毅～

タロットの総数は78枚。その中で、最も重要視されるのが、【大アルカナ】と呼ばれる、22枚のカードです。

タロット78枚の中で【大アルカナ】は【運命の勢力】を暗示し、その人が、或いは集団が、どのような影響を受けているかを判断するのに使用されます。

さて、その【大アルカナ】の【Ⅷ番】。

和名【剛毅】と呼ばれるこのカードは、怖れなく、全てに勝る力の暗示。

そして、その力を誇示する訳でも無く、敵とされる全てのモノを、穏やかに包み込む【強き愛】の暗示でもあります。

実際鑑定の上では、問題克服に強い影響力を持つ【吉兆のカード】として、好意的に扱う事になります。

このカードと、よく比較されるのが、【Ⅶ番 戦車】のカード。

双方とも、問題克服に強い力のあるカードとされますが、その特質には、かなり大きな違いがあるのです。

【戦車】のカードは、極めて迅速に、相手を傷付けてでも問題解決を図ると言う、どちらかと言えば、随分と過激なカード。また、内的葛藤があり、精神的に安定していないと言う特徴もあります。

しかし、【剛毅】のカードは、ゆっくりと時間を掛け、相手を受け入れつつ、穏やかな問題解決を図ります。精神的にも落ち着きがあり、その意味でも平和的な力であると評価する事が出来るでしょう。

【剛毅】のキーワードは、【無敵】です。

すなわち、誰をも敵とせず、誰にも敵とされない状態。

自他共に受け入れる、【心の強さ】が表現されたカードなのです。

人が【敵】と見做すのは、自分自身の【影】。

【脅威】を感じる時とは、自らを見つめ、受け入れる事が出来ない時。

それは時に、戦わずして負けるという事を意味します。

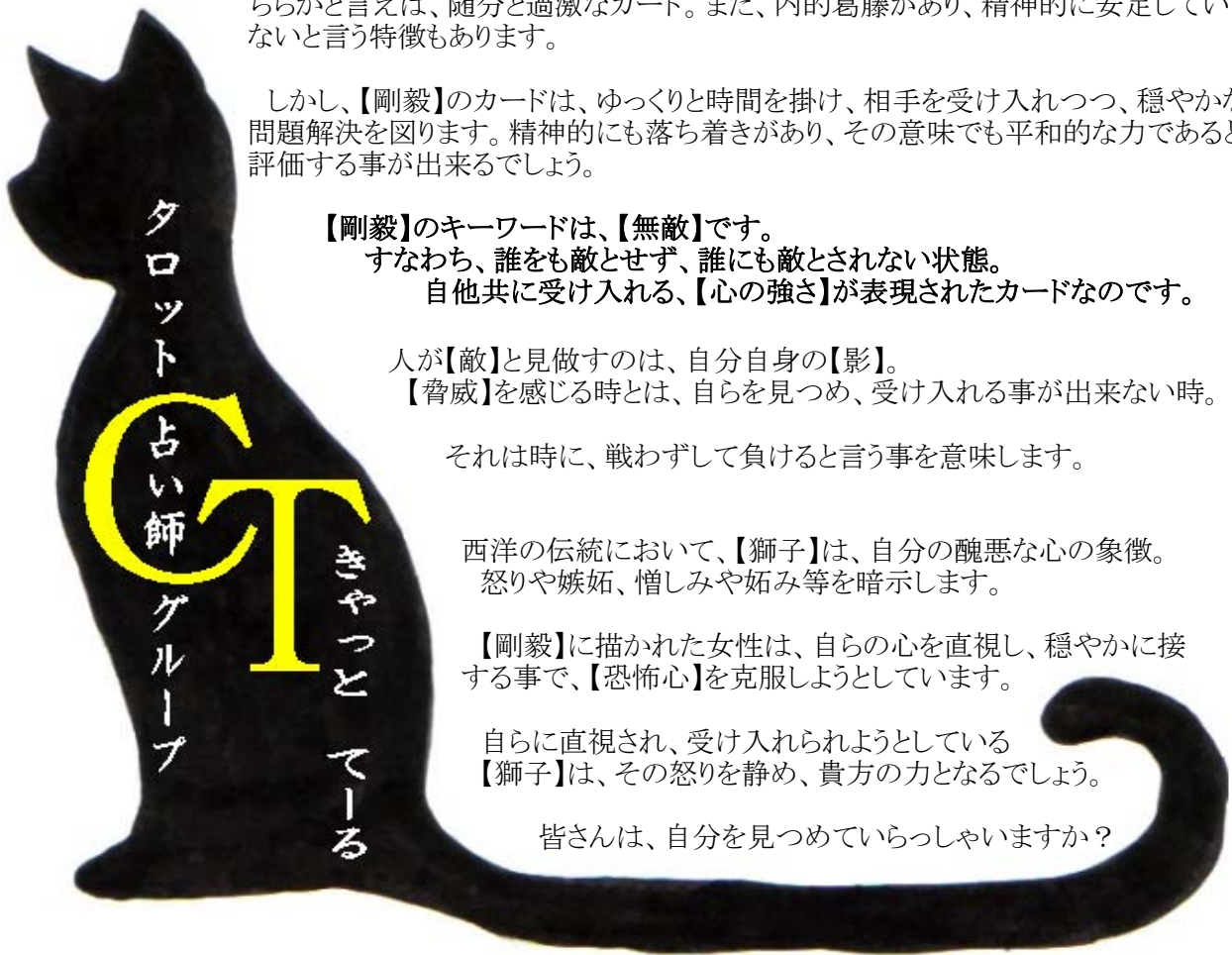
西洋の伝統において、【獅子】は、自分の醜悪な心の象徴。怒りや嫉妬、憎しみや妬み等を暗示します。

【剛毅】に描かれた女性は、自らの心を直視し、穏やかに接する事で、【恐怖心】を克服しようとしています。

自らに直視され、受け入れられようとしている

【獅子】は、その怒りを静め、貴方の力となるでしょう。

皆さんは、自分を見つめていらっしゃいますか？



カードの解説 ～IX番 隠者～

タロットの総数は78枚。その中で、最も重要視されるのが、【大アルカナ】と呼ばれる、22枚のカードです。

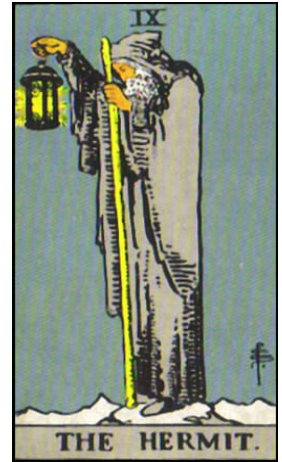
タロット78枚の中で【大アルカナ】は【運命の勢力】を暗示し、その人が、或いは集団が、どのような影響を受けているかを判断するのに使用されます。

さて、その【大アルカナ】の【IX番】。

和名【隠者】と呼ばれるこのカードは、人里離れた場所に隠れ住む賢者。静かなる知恵と、先賢の明を以って多くの若者達を導き、精神の高みへと誘う【孤高の導師】を暗示します。

実際鑑定上では、具体的な【吉兆】を暗示するカードとしては取り扱わないものの、抱えている問題やテーマについて、鋭い洞察と深い知恵、そして、精神的な成長を促す力があるとして、問題克服を目指す上で重宝されます。

しかし、ある意味では、使い勝手の難しい【運命の勢力】を暗示するとも言えるでしょう。と言うのも、【運命の勢力】を暗示するカード群には、時期的な【動静】や、【スピード】と言った概念があり、【隠者】は、静かで遅いと言う特徴があるのです。何かしらの目的があり、その達成を急いでいる場合には、少々もどかしさを感じるかも知れません。



そもそも【隠者】のカードは、現時点取り組んでいる物事から、時間と距離を空ける必要性を説きます。

問題を客観的に認識・分析する為に、少し離れた場所から眺めなければならない。

その意味を含め、【隠者】のカードは、山の上に佇み、下界を見下ろす孤独な老人として描かれるのです。

カードのテーマは【内省】。そして【無知の知】。

外側を観察する反面、その大半は自分へと帰結し、自らの意識を変えて行くように促すのが【隠者】のカードなのです。

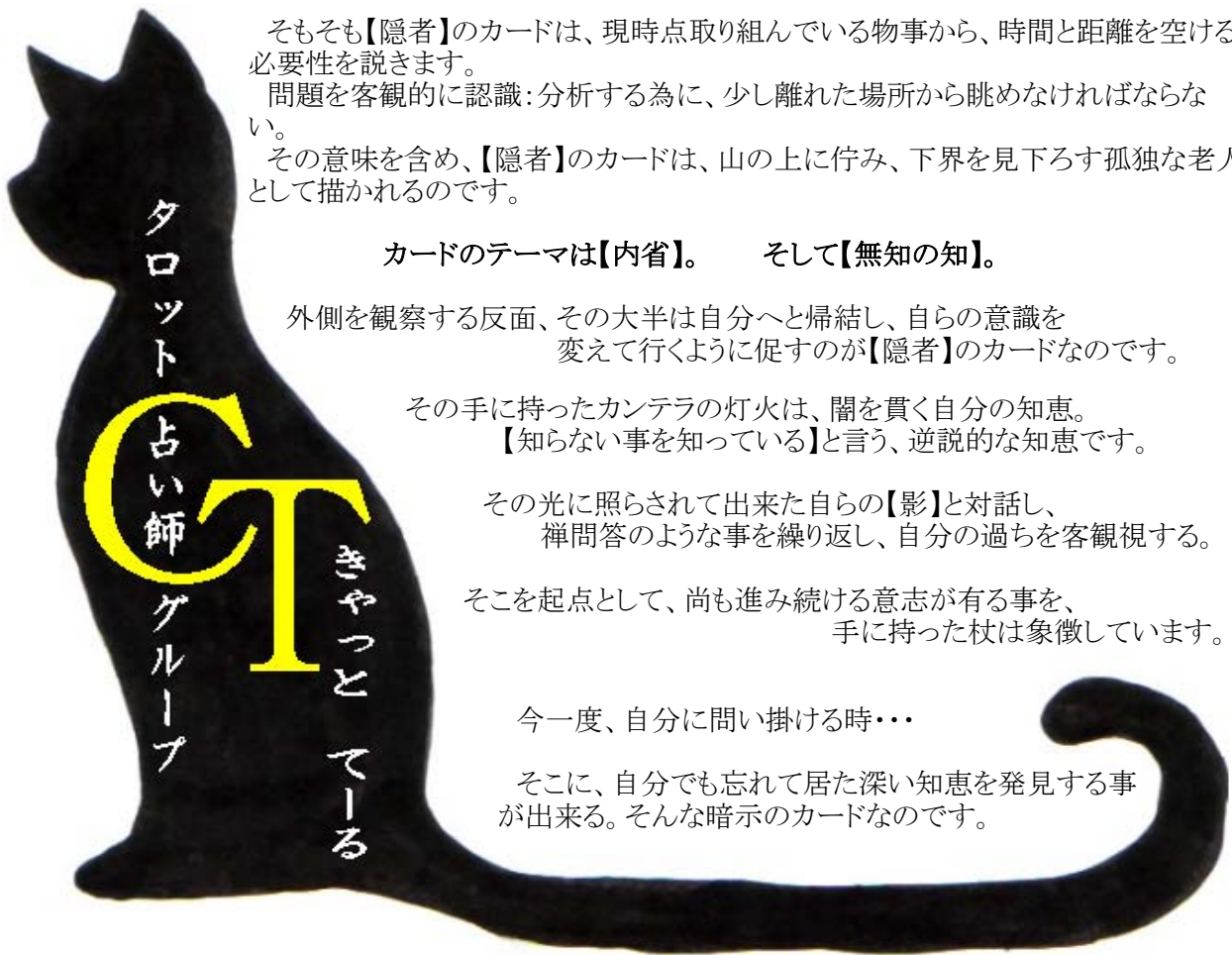
その手に持ったカンテラの灯火は、闇を貫く自分の知恵。
【知らない事を知っている】と言う、逆説的な知恵です。

その光に照らされて出来た自らの【影】と対話し、
禅問答のような事を繰り返し、自分の過ちを客観視する。

そこを起点として、尚も進み続ける意志が有る事を、
手に持った杖は象徴しています。

今一度、自分に問い掛ける時・・・

そこに、自分でも忘れて居た深い知恵を発見する事が出来る。そんな暗示のカードなのです。



カードの解説 ～X番 運命の輪～

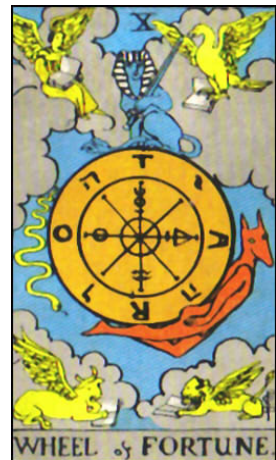
タロットの総数は78枚。その中で、最も重要視されるのが、【大アルカナ】と呼ばれる、22枚のカードです。

タロット78枚の中で【大アルカナ】は【運命の勢力】を暗示し、その人が、或いは集団が、どのような影響を受けているかを判断するのに使用されます。

さて、その【大アルカナ】の【X番】。

和名【運命の輪】と呼ばれるこのカードは、この宇宙に偏在する【運命の営み】を記録する、壮大なレコード盤。

全てのモノが、歯車同士で噛み合い、互いに影響し合う事によって動くような、【運命の連動性】を暗示するカードです。



このカードの解釈は、実は、結構難しいのです。

多くの場合、単純に【幸運な出来事】や、ある種の【流れが有る】と解釈されがちなのですが、このカードだけでは、どのような出来事が起こり、どのような流れが生じるのかが一切解らない。

ただ其処に、厳然とした【運命の歯車】が回っている事しか解らないです。

そもそも【運命の輪】のカードは・・・

【運命は、一つ一つ独立して存在しているモノでは無い】

と言う事を強調するカード。

全ては連続性の中で、互いに密接に影響し合いながら動いている。

その為、【運命の輪】のカードは、近くに出現したカード郡によって、その意味を大きく変えます。

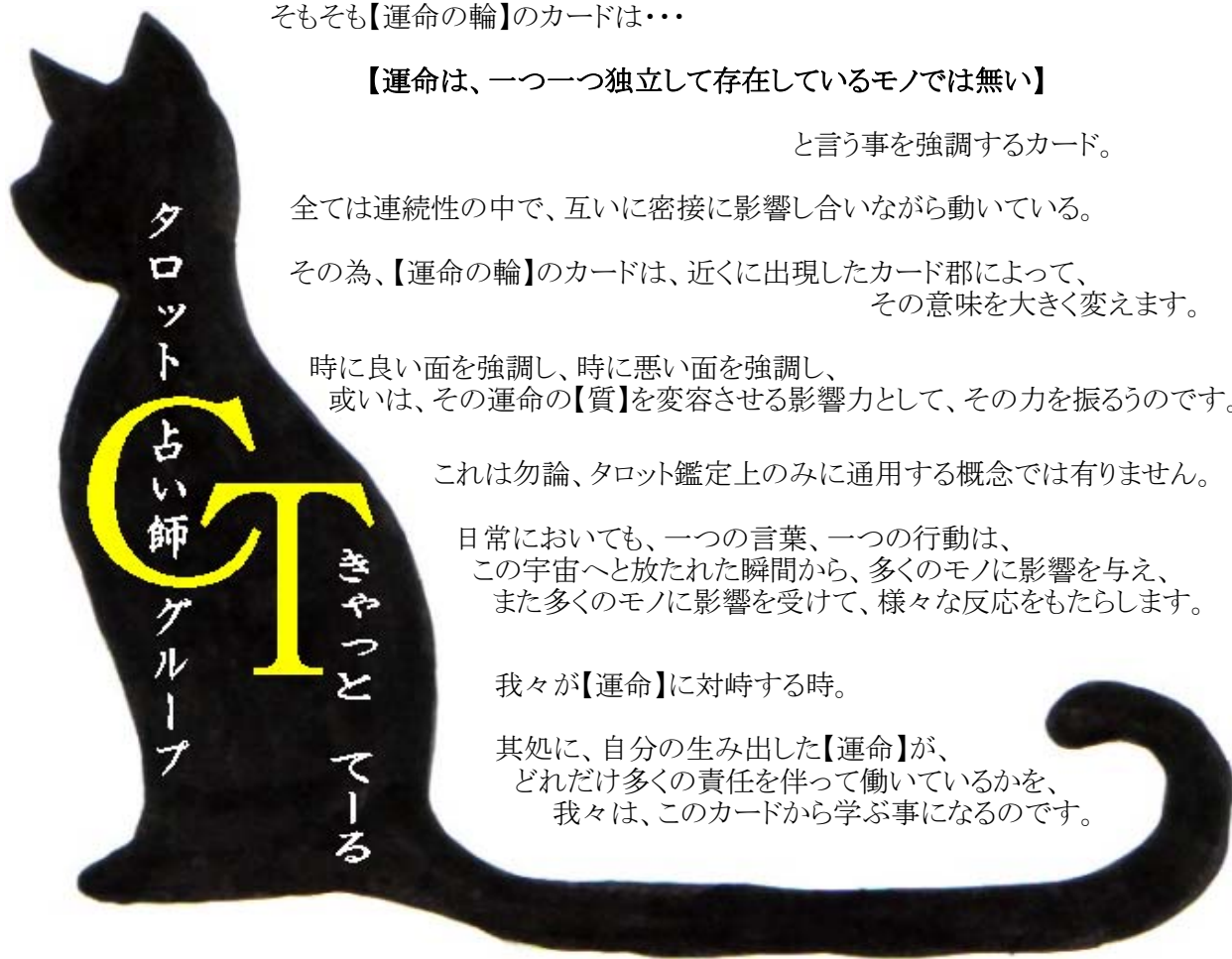
時に良い面を強調し、時に悪い面を強調し、
或いは、その運命の【質】を変容させる影響力として、その力を振るうのです。

これは勿論、タロット鑑定上のみに通用する概念では有りません。

日常においても、一つの言葉、一つの行動は、
この宇宙へと放たれた瞬間から、多くのモノに影響を与え、
また多くのモノに影響を受けて、様々な反応をもたらします。

我々が【運命】に対峙する時。

其処に、自分の生み出した【運命】が、
どれだけ多くの責任を伴って働いているかを、
我々は、このカードから学ぶ事になるのです。



カードの解説 ～X I 番 正義～

タロットの総数は78枚。その中で、最も重要視されるのが、【大アルカナ】と呼ばれる、22枚のカードです。

タロット78枚の中で【大アルカナ】は【運命の勢力】を暗示し、その人が、或いは集団が、どのような影響を受けているかを判断するのに使用されます。

さて、その【大アルカナ】の【X I 番】。

和名【正義】と呼ばれるこのカードは、その文字通り、この世界に厳然として存在する【正義の理念】の暗示。

悪行には罰を与え、善行には報酬を与える。

極めてシンプルながら、実に奥深い意義をもって存在します。

とは言え、【正義】と言う概念自体、決して簡単なモノではありません。

多くの場合、我々人間は、【正義】の真意を理解せずに、軽々しく【正義】を口にしてしまいます。

例えば、罪人を裁く為に、その人の命を奪うのは、【正義】なののでしょうか？

或いは、【正義】の大看板を掲げて戦争を行うのは、【正義】なののでしょうか？

不幸な事に、人間は多くの場合、【悪】に対して【正義】で裁く事が出来ません。【悪】に対して【悪】で裁くと言う、極めて稚拙な対処しか出来ないのです。

そして、それが人間の抱えた、逃れようの無い、不幸なる【罪】。

我々は、【悪】を裁くのに暴力を使い、それを【正義】と呼ぶ事があります。

しかしそれは、【正義】では無く【私義】。或いは【主観的正義】と呼ばれるモノ。

【正義】のカードが教えようとしているモノは、その【私義】では無く、この宇宙に存在する、ある種の【秩序】なのです。

作用：反作用の法則とでも言いましょうか。

我々が何か言動すれば、必ずそれに対する運命の反応が有る。

そして、主体的な言動と、運命の反応との間で天秤が釣り合う。

この状態が【正義】なのです。

主観的な感情は、一切入り込む余地の無い。

厳然たる宇宙の反応こそが、【正義】の指針なのです。



カードの解説 ～XⅡ番 吊るし人～

タロットの総数は78枚。その中で、最も重要視されるのが、【大アルカナ】と呼ばれる、22枚のカードです。

タロット78枚の中で【大アルカナ】は【運命の勢力】を暗示し、その人が、或いは集団が、どのような影響を受けているかを判断するのに使用されます。

さて、その【大アルカナ】の【XⅡ番】。

和名【吊るし人】と呼ばれるこのカードは、【XⅠ番 正義】によって裁かれた【罪人＝受刑者】であると考えられています。

実践解釈の上では、現実的なあらゆる苦難を暗示する為、このカードを引いた人は、随分な苦勞を背負う事になるでしょう。

但し、この苦勞は、決して【理不尽な不運】と言う訳ではありません。

このカードが暗示するのは、過去の過ちについての清算。

そして、より高いレベルを目指す上での修行。

いずれの意味を取ったとしても、この時期を乗り越える事で、新しい道を見出し、力強く歩み出す事が出来るのです。

カードを見てみましょう。

男性が、逆さ吊りにされている様子が描かれています。
苦しい姿勢のはずなのに、表情には余裕があり、安らかにさえ見える。
そして、頭部には【悟り】や【気づき】を暗示する後光。

彼は、逆さ吊りにされた事により、ある発見をしたのです。

つまり…

天を踏みしめ、大地を仰ぎ見る。
世界を、別の視点で眺める。

彼は、発想を転換する事により見える世界に気付いたのです。

彼は、これまでの世界を、改めて見直す事により、
自らの罪に気が付き、そして、その償いの方を見出します。

そして、自らに課せられた試練に打ち勝つ為、
新しい手段を手に入れる。

我々は、度々苦難を背負います。

その時、その苦難の中で、何を見出すのかが問われる。

【吊るし人】は、そんな事を教えるカードなのです。

